

わたなべ・きくま

■ 渡辺 菊眞 (建築家 高知工科大学教授 博士 (学術))

1971 年奈良県生まれ

1997 年京都大学修士課程修了

2001 年京都大学博士課程 (布野修司研究室) 単位認定退学

2024 年京都工芸繊維大学博士課程修了 博士 (学術)

2001 年-2006 年京都 CDL (京都 1 4 大学連合のまちづくり団体) 運営委員長

2001 年-2007 年渡辺豊和建築工房勤務

2002 年太陽建築研究所 (井山武司主催) にてパッシブソーラーハウスの共同研究

2007 年- D 環境造形システム研究所代表

2009 年- 高知工科大学准教授を経て同大学教授 (2024 年)

2020 年- 渡辺菊眞建築出版代表

アジア・アフリカで貧困緩和と自立支援活動としての建築を起点に、空と大地をつなぐパッシブ建築、フィールドの読解にもとづく建築t 研究と実践を続けている。近年は、これまでの建築実践と、これからめざすべき建築を貫く思考・方法として地域-地球型建築という概念を提示し、その構築を追求している。



■主な建築作品・プロジェクトと受賞・掲載

【すむ、つどう、そだつ場所としての建築】

(1) 「角館の町家」: 『新建築住宅特集』2006 年 7 月号

曳家保存した町家「渡邊家住宅」は国の登録有形文化財に指定(2011 年)

(2) 「南シューナ地区コミュニティセンター」: 『新建築』2010 年 3 月号

(3) 「『虹の学校』学舎: 天翔ける方舟」: AZ Awards (Best Architecture Under 1,000 m²) 【カナダ】最優秀賞 2014 年, Architectural Review AWARD for Emerging Architecture 【イギリス】 優秀賞 2014 年, 2014 Faith & Form/IFRAA Award 【アメリカ】 優秀賞 2014 年, designboom 52P 10 reader submissions of 2014-architecture 【イタリア】 2014 年, Architizer+A Awards 2015 【アメリカ】 審査委員賞 2015 年, Architecture Asia Awards 2016 【アジア】 優秀賞 2016 年, 『新建築』2013 年 11 月号

(4) 「宙地の間」: World Architecture Community Awards 22Cycle 【トルコ】 優秀賞 2016 年, 『新建築住宅特集』2016 年 6 月号

(5) 「葡萄棚パッシブハウス」: 『新建築住宅特集』2021 年 1 月号

World Architecture Community Awards 49Cycle 【トルコ】 優秀賞

(6) 「ゲンダイタテアナ」2025 年

【いのる場所としての建築】

(7) 「産泥神社」: 2013 Faith & Form/IFRAA Award 【アメリカ】 優秀賞 2013 年, 「にいがた水と土の芸術祭 2012」招待作家

(8) 「金峯神社」: World Architecture Community Awards 23Cycle 【トルコ】 優秀賞 2016 年, World Architecture Community Awards 26Cycle 【トルコ】 優秀賞, 高知県建築文化賞最優秀賞 (県知事賞) 2017 年, 第 3 回日本建築設計学会賞 2020 年, 『新建築』2019 年 5 月号

たかはし・しゅんや

高橋 俊也 (構造家、墓博士)



D 環境造形システム研究所 研究員

高橋俊也構造建築研究所 主宰

1979 年栃木県宇都宮市生まれ。

2002 年京都大学工学部建築学科卒業。

2005 年同大学院修士課程 (布野修司研究室) 修了。

2007 年~D 環境造形システム研究所。

2009 年滋賀県立大学大学院博士課程 (布野修司研究室) 修了。

集まって住まうかたちを、墓を通して解明する研究を続ける。

博士 (滋賀県立大学環境科学)

「京都における墓地空間の変容と都市周縁空間の環境整備手法に関する研究」

構造設計の実務を経て 2014 年に高橋俊也構造建築研究所 (静岡県磐田市) を設立。

一級建築士、耐震診断補強相談士、地震被災建築物応急危険度判定士

構造設計一級建築士、構造計算適合判定資格者

主な構造設計に「宙地の間」、「分割造替 金峯神社」(第 5 回高知県建築文化賞 高知県知事賞)、「ゲンダイタテアナ」(D 環境造形システム研究所+渡辺菊眞)、西千代田町の家 (山田誠一建築設計事務所)、DLT 恒久仮設木造住宅 (坂茂建築設計)、他。

渡辺菊真 建築作品集



【角館の町家】 2006年
所在地：秋田県仙北市角館町
機能：専用住宅
空間：築120年の町家+後背地の増築
構造・工法：伝統工法（前方町家）、在来軸組工法（増築部）
施工：小松建設（仙北市地元の工務店）
その他：築120年の町家は曳家にて保存。当該町家は「渡邊家住宅」として国の有形登録文化財に指定されている（2011年）



【葡萄棚パッシブハウス】 2024年（プロジェクト）
所在地：奈良県生駒郡信貴山麓
機能：農家住宅+葡萄棚ビニルハウス
環境技術：パッシブハウス
（ビニルハウスを付帯温室とする冬季空気集熱暖房+夏季躯体蓄冷自然冷房）
空間：大地芸術としての葡萄棚ビニルハウスに寄り添う住空間
構造・工法：鋼管杭基礎、鉄骨フレーム+鉄筋コンクリート床版+在来軸組構法



【宙地の間】 2015年
所在地：奈良県生駒郡平群町
機能：専用住宅
環境技術：パッシブハウス（直接熱取得太陽暖房+躯体蓄冷自然冷房）
空間：日時計により太陽の巡りを感じられる家
構造・工法：在来軸組工法 吉野杉を積極的に使用
施工：伏見建築事務所（奈良地元の工務店）



【ゲンダイタテアナ】 2025年
所在地：静岡県磐田市
機能：専用住宅
環境技術：パッシブハウス（直接熱取得太陽暖房+躯体蓄冷自然冷房）
空間：竪穴をウチニワに転じて暮らす家
構造・工法：在来軸組工法 天竜杉を積極的に使用
施工：桑高建設（静岡地元の工務店）



【天翔ける方舟】 2013年
所在地：タイ、カンチャナブリ県
機能：孤児院兼学校
環境技術：熱帯地域におけるパッシブクーリング導入
空間：母なる大地としての洞窟的空間と空飛ぶ船としての高床
構造・工法：土嚢建築、足場用単管、竹床・壁、草葺屋根
施工：D環境造形システム研究所+現地農家+学校の子どもたち



【金峯神社】 2024年
所在地：高知県香美市
機能：神社社殿（拝殿機能と本殿機能を分離して造替）
空間：二つの社殿は聖山・御在所山を向く
構造・工法：足場用単管、高知県産杉材
施工：渡辺菊真+高知工科大学渡辺菊真研究室
その他：過疎地域の氏神をセルフビルドの社殿にて再建



【南シューナ地区コミュニティセンター】 2010年
所在地：ヨルダン、バルカ県
機能：集会所兼工房
環境技術：パッシブ建築
空間：大きな空のある石造空間
構造・工法：石造、鉄筋コンクリート造、土嚢建築
施工：AAA Office+D環境造形システム研究所+南シューナ地区住民



【産泥神社】 2012年
所在地：新潟県新潟市
機能：神社社殿（正確には屋外展示空間）
空間：天と大地をつなぐ、まちの根源的記憶を覚醒する空間
構造・工法：土嚢建築+足場用単管+杉垂木+構造用合板
施工：D環境造形システム研究所+高知工科大学渡辺菊真研究室+新潟市の地域住民
その他：新潟市、水と土の芸術祭2012招待展示作品